

沼津市重層的支援体制整備事業のおしらせ



近年、核家族化による家族の支え合いの減少や地域のつながりの希薄化から、困りごとがいくつも重なっている人が増えています。またそのような人は社会からも孤立しがちで、自ら悩みを相談できずにいる人が少なくありません。こうした現状を受けて、誰もが必要な支援につながり、安心・安全な暮らしを送れるよう、地域全体で支える体制をつくろうということから始まったのが「**重層的支援体制整備事業**」です。

重層的支援体制整備事業とは？

実施主体:沼津市

既存の相談支援や地域づくり支援の仕組みを活かし、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の相談支援体制では対応しきれないような「地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するものです。

相談から支援の流れ

さまざまな相談支援 (包括的相談支援事業)

子ども・障がい・高齢・困窮など福祉の相談窓口から



本人・本人以外から

本人・家族からの相談やご近所さんからの情報提供



沼津市実施

支援のための会議 (重層的支援会議)

いろいろな課題を抱えていて、たくさんの支援機関がサポートした方がいい場合は関係者で話し合い、支援プランを立てます。



社協実施

関係づくり (アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)

ご本人との関係づくりを含めた継続的な支援をスタートします。



社協実施

社会参加へのつなぎ (参加支援事業)

- 地域活動に参加したり、社会とのつながりづくり (居場所、就労体験やボランティア) を一緒に行います
- 地域社会の一員として、自分に合った役割を見出します



裏面もあります (社協の役割)

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

課題を抱えながらも支援につながる事ができていない人に必要な支援を届けます

各種会議や支援関係機関、地域住民等との連携を取りながら、本人と何らかのかかわりを作ることで、課題やニーズなどに合わせた支援を行うきっかけをつかみます。



本人との信頼関係の構築に重点を置きます

これまで支援につながっていなかった本人との継続的なかかわりを持つため、信頼関係構築に向けて、直接対面・対話のほか、取り巻く周囲の人たちともかかわり、間接的なアプローチ等の働きかけを行います。



参加支援事業

社会とのつながりを作るための支援を行います

既存の各制度の支援では対応できないニーズに対応するため、地域の社会資源などを活用して社会とのつながりづくりに向けた支援を行います。



マッチング後も継続的なフォローアップ及び受入先のサポートを行います

本人の状態や希望・ニーズに沿った支援が実施できているかフォローアップ等を行い、継続的かつ柔軟な社会参加の実現に向けた支援を行います。



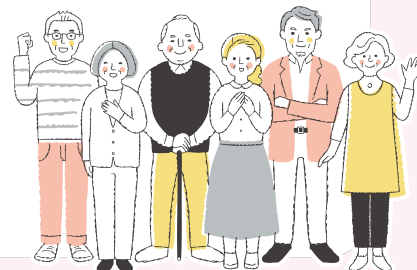
本人とその世帯のニーズを踏まえたマッチングを行い、活動メニューをつくります

本人とその世帯のニーズや課題を見逃さず把握し、地域の社会資源との間をコーディネートし、支援メニューのマッチングや新たな支援メニューを創出します。



市民のみなさまへ

- 身近な人が困っていたら、ぜひ情報をお寄せください。「こんなことで相談していいの?」という心配はいりませんので、困っている人に気づいたら、ご連絡ください。
- 支援する方の社会参加を受け入れ先として一緒にサポートしてくれるグループ、団体、法人なども募集しています。また、近隣での見守り活動などにもご協力ください。
- 取り組みへの理解を深めるため、社協が開催する講座・研修にご参加ください。



連絡先

社会福祉法人
沼津市社会福祉協議会

電話

055-922-1500

受託者 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業

FAX 055-922-1502

Mail info@numazu-shakyo.jp